

# 中国におけるコーポレート・ガバナンス (企業統治)のフロンティアと国際比較

GDP がついに日本を追い抜き、世界第 2 位の経済大国になった中国。その中国経済を支えている上場企業のガバナンス構造はいったいどうなっているのか。中国の株式市場のモニタリング(監督)機能はどのように働いているのか。中国株の投資リスクはどのように評価されているのか。世界中の投資を集めている中国だけにそのリスクへの懸念もめぐいきれない。中国におけるコーポレート・ガバナンス研究の第一人者であり、各種政策、立法、評価基準の制定などに深くかかわってきた李維安・東北財経大学学長をお招きし、中国の企業統治のフロンティアと問題点を多面的に解説していただく。

## 【講師】 李維安 氏 (Li Weian)

中国東北財経大学学長・南開大学コーポレート・ガバナンス研究センター長

商学博士(慶応義塾大学)、経済学博士(南開大学)。中国におけるコーポレート・ガバナンス研究の第一人者。中国国務院学位委員会学科評議グループ座長、教育部工商管理教学指導委員会副委員長などの要職を兼任。「中国のコーポレート・ガバナンス評価指数」及び「中国のコーポレート・ガバナンス株価指数」を開発、「中国のコーポレート・ガバナンス原則」及び上場企業のガバナンス状況を評価する基準を制定した。中国証券監督委員会、銀行監督委員会、保険監督委員会、国有資産委員会などとの共同研究を通じて、関連分野の評価システムを確立した。さらに、世銀や国連貿易開発会議(UNCTAD)などの国際機関との共同プロジェクトの代表者なども務めた。中国経済学の最高峰である「孫冶方経済科学賞」を受賞。

代表的な著書には、『公司治理』(中国財経出版社、2004 年)、『公司治理教程』(高等教育出版社、2005 年)、『中国のコーポレート・ガバナンス』(税理協会出版、1998 年、日本語)などが約 50 冊。

【日時】 2011年2月9日(水) 14:30~16:30

【会場】 愛知大学車道校舎13階第3会議室

(名古屋市東区筒井 2-10-31 地下鉄桜通線車道駅下車徒歩 2 分)

日本語講演、一般公開、参加無料、申込不要

### 【主催】

愛知大学国際中国学研究センター・国際問題研究所

### 【後援】

東海日中貿易センター

コメンテーター 川井伸一氏(愛知大学経営学部長) 司会 李春利(愛知大学経済学部教授)

事務局 〒470-0296 みよし市黒笹町清水 370 愛知大学国際中国学研究センター  
Tel (0561) 36-5637 Fax (0561) 36-5422 Email coe-iccs@moon.aichi-u.ac.jp